

(奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産 地域連絡会議資料)

# 世界自然遺産推進共同体の活動について

2025年2月12日

世界自然遺産推進共同体

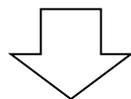
代表 中山 洋彦  
(日本航空(株) 鹿児島支店長)



奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島  
世界自然遺産

# 世界自然遺産推進共同体の組織概要

- ◆環境保全、気運盛り上げに官民一体で取り組み、登録に貢献
- ◆先代から受け継いだ宝を次世代に
- ◆環境保全と地域振興策の両立の必要性



## 世界自然遺産推進共同体 発足 (2019年8月)

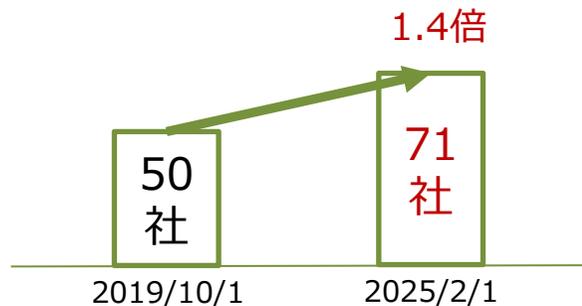
代 表：日本航空(株)鹿児島支店長

副代表：日本エアコミューター(株)取締役、(株)ドコモCS九州 鹿児島支店長

事務局：日本航空(株)奄美営業所、日本エアコミューター(株)地域連携部  
(株)ドコモビジネスソリューションズ九州支社鹿児島支店

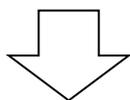
構成員：71社（奄美群島および鹿児島県内外の企業・団体） 2025年2月現在

後 援：環境省、林野庁、鹿児島県、奄美群島12市町村



- ◆環境保全と地域振興の両立による持続可能な奄美群島作りに貢献していきましょうという志の下に集う**企業・団体の任意の集まり**  
(会費や負担金なし)

- ◆環境保全や観光に関係のない企業や団体がほとんど（約6割）



**持続可能な社会創りは、島に住む、島に関係する  
一人一人、一社一社の意識醸成と行動から**

- ◆共同体**全体で実施する活動**（ビーチクリーンや外来種駆除作業など）もあれば、個々人で、またはメンバー企業/団体それぞれが**独自に行う活動**もあり

## 【最上階】共同体全体での活動：

環境保全と活用の両立により持続可能な奄美群島作りに貢献していくために、  
参加企業/団体の皆さまと一緒に考え取り組んでいく大きな活動

## 【三層目】企業/団体としての活動：

自社の特徴を活かし、環境保全への貢献とともに企業利益にも繋がる取り組み  
自然環境・企業・消費者とも満足する三方良しの形

## 【二層目】個人としての活動：

「外来植物の駆除作業」、「自然観察/体験」「世界遺産シンポジウム参加」等、世界自然遺産を知る・守るための入口

## 【一層目】個人としての活動：どなたでも気軽に参加できる活動

ビーチクリーン等、島を大事にしていくという個々人の思いの醸成/拡張

保全と活用の両立による持続可能な島



宝・魅力（自然・文化）の適切な活用



守る・磨く



ムンヌ シハテヤ ネン  
(物事の知り果てることは無い)

島のこと、  
島の宝のことに  
関心を持つ、知る

# 個人が気軽に参加できる活動例（ビーチクリーン作業）

## 【参加人数】

共同体メンバー	56名
共同体後援行政	14名
一般参加	12名
計	82名

## 【収集ゴミ】

燃えないゴミ	45 袋×20袋
燃えるゴミ	86袋
粗大ゴミ	軽トラック2台分
ペットボトル	44袋
計	150袋+軽トラック2台分

## 【ペットボトル原産国別】

中国（690～695）	336本
韓国（880）	46本
日本（49 または 45）	28本
ベトナム（893）	28本
台湾（471）	20本
インドネシア（899）	6本
タイ（885）	1本
計	465本+判別不可多数



# 世界自然遺産を守るための活動例（外来植物の駆除作業）

## 外来種駆除作業（奄美大島エコツアーガイド連絡協議会主催）に参加

- ◆ 日 時：2022/10/22（土）9:30～11:30
- ◆ 駆除場所：龍郷町戸口～加世間峠（ふたつの海が見える丘）周辺
- ◆ 駆除対象：セイタカアワダチソウ・アメリカハマグルマ  
※繁殖力が強く、在来種の生育に大きな影響を与えています
- ◆ 参加人数：89人（ガイドの皆さま、龍郷町、環境省、観光庁、共同体20人）



駆除  
ゴミ袋60個  
(400kg)

# 世界自然遺産を守るための活動例（アマミトゲネズミ繁殖のためのシイの実集め）

- ◆日時/場所：2020年から毎年秋（11月）に実施～奄美市笠利 蒲生崎公園
- ◆参加数：毎年50～70名前後
- ◆共催：奄美市立奄美博物館、世界自然遺産推進共同体
- ◆協力：神戸どうぶつ王国、宮崎市フェニックス自然動物園、鹿児島市平川動物公園
- ◆収集量：数kg～過去最高は12kg



飼育されているアマミトゲネズミ



動物園の方より、飼育様子を説明



職場の仲間と、家族と、それぞれ自然を散策しながら保全活動を実践しました

水に浮かんだ実は取り除きます

動物園にシイの実を贈呈

# 企業活動の例：地域の自然を守るタオル～太平電機ECOひいきプロジェクト

## 奄美大島、徳之島、沖縄の野鳥や野生動物を刺繍した、草木染のオーガニック今治タオル

- 【目的】①地元の自然保護団体の活動支援 ※タオル1枚につき100円を寄付  
②貴重種の認知：奄美大島、徳之島固有種、絶滅危惧種などを刺繍  
③保護活動の認知：調査活動の紹介、ロードキル問題などを説明書き  
④障がい者施設の支援：包装作業を奄美大島・徳之島の各1施設に依頼

【寄付金総額】 8,250,364円（2018年6月 販売開始～2024年9月）

【奄美大島、徳之島の寄付先】 ※その他、沖縄地区の団体や日本ウミガメ協議会、オオタカ保護基金等へも寄付  
奄美大島) 奄美野鳥の会、奄美哺乳類研究会(～2022.3)、奄美いんまや病院、奄美猫部、  
奄美海洋生物研究会、龍郷町自然観察の森(2020年のみ)  
徳之島) 徳之島虹の会

【販売店】 緑文字は共同体メンバー（※印＝取扱終了）

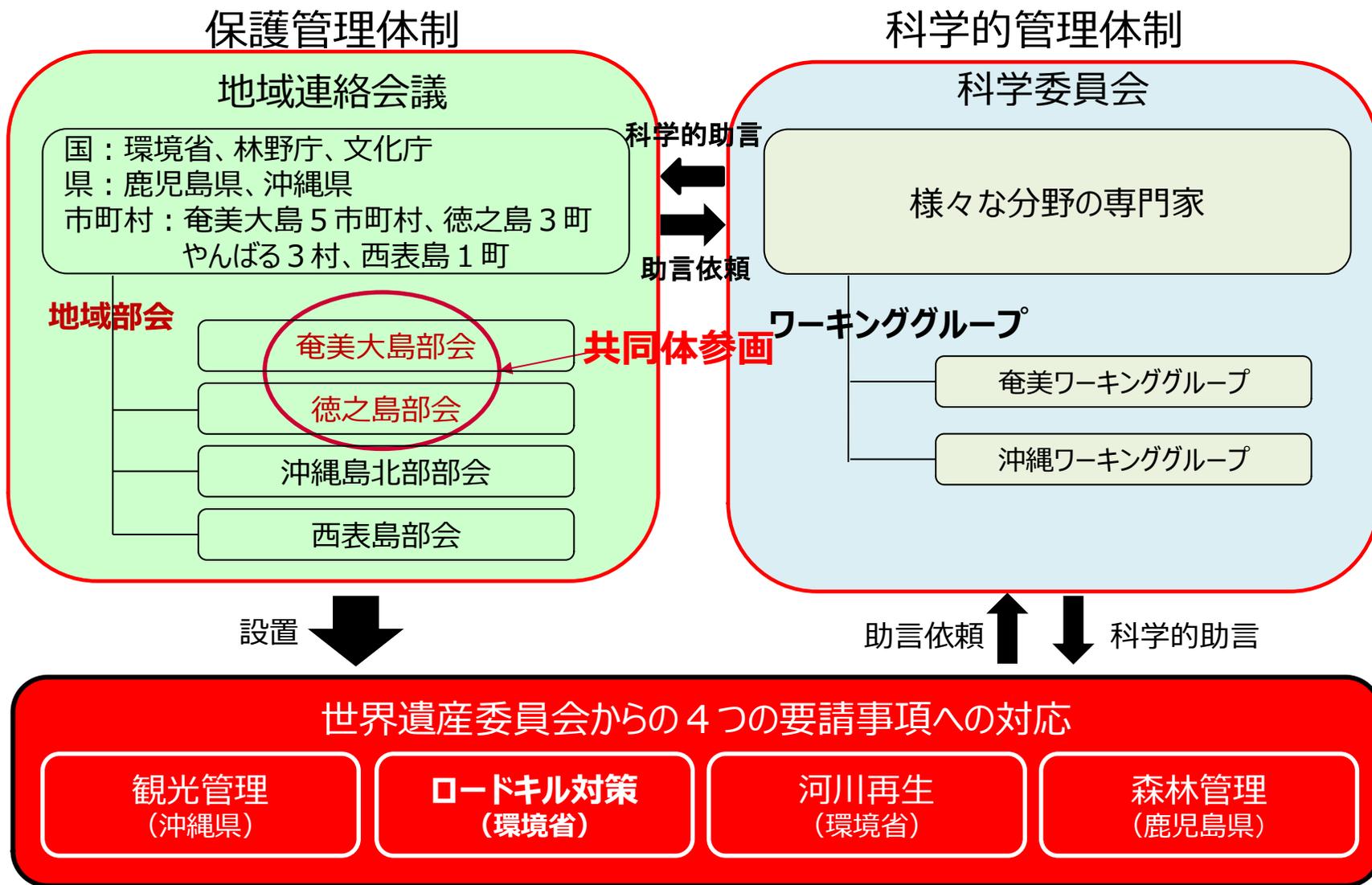
奄美大島) Frasco、※奄美パークゆらん郷(アドヴァンスランド)、cafe COVOTANA、  
123マート(西川グループ)、奄美海洋展示館(谷木材商工)、  
E'more秋名、お茶のふじえん、三太郎の里(すみようやムラランド)、  
みやげ処せんとうち

徳之島) SKYCAFE、ホテルサンセットリゾート、ホテルレクストン徳之島(西川グループ)、  
ホテルグランドオーシャンリゾート様、ダイマル、とうぐら、百菜

機内販売) ※JAC、※JTA、※J-AIR  
行政クラウドファンディング) 龍郷町、徳之島町



# 地域連絡会議 地域部会の一員としての活動



# 地域連絡会議 地域部会の一員としての活動

事業項目（大項目）	共同体として取り組んでいる活動
1) 保護制度の適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆希少種の保護増殖事業への取組協力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内動物園で飼育増殖されているアマミトゲネズミのためのシイの実集め</li> <li>・ルリカケスのヒナの航空輸送時の手続き簡素化</li> </ul> </li> </ul>
2) 外来種による環境の排除・低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外来植物駆除作業への参加協力</li> <li>◆ネコの適正飼養についての普及啓発 等</li> </ul>
3) 希少種への人為的影響の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆アマミノクロウサギ等希少野生動物の交通事故対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>・注意喚起、普及啓発</li> </ul> </li> <li>◆アマミノクロウサギ等の傷病野生鳥獣救護               <ul style="list-style-type: none"> <li>・傷病個体発見時の対応方法の周知</li> </ul> </li> <li>◆密猟盗採防止のための空港での水際対策の実施</li> <li>◆関係機関との連携による盗掘・盗採事案発生時の連絡体制の周知 等</li> </ul>
4) 緩衝地帯等における産業との調和	
5) 適切な観光管理の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用ルールの検討会議参加、ルールの周知</li> <li>◆奄美トレイルの周知、利用促進</li> <li>◆エコツーリズムの推進 等</li> </ul>

# 世界自然遺産を守るための活動例（奄美空港での希少生物持ち出し防止対策）

きっかけ

## ◆希少種密猟逮捕事例（奄美大島）

- ・2018年7月、東京都内の男性が奄美大島でアマミインガワガエル等を捕獲
- ・2019年4月、「種の保存法」違反疑いで逮捕

## ◆世界自然遺産区域に違法わな（奄美大島、徳之島）

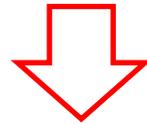
- ・世界自然遺産登録（2021年7月）前頃より増加傾向



2人逮捕、営利目的か

奄美希少種密猟疑い

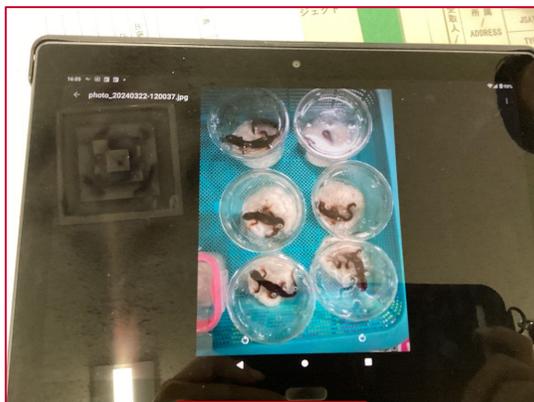
取り組み内容



- (1) 密猟・密輸対策研修会を実施～環境省 & 空港関係機関（※）
- (2) 希少生物（疑わしきもの）発見時の連絡網の整備～空港関係機関（※）
- (3) 持ち出し違法周知ポスターを空港ロビー内に掲示～環境省、空港ビル
- (4) 識別マニュアルや希少種判別用タブレットを、JAL奄美空港カウンタースタッフ用として配備～環境省
- (5) 野生動植物持ち出し実態調査～環境省

（※） JALグループ,SKY,Peach,奄美空ビル,セノン,空港管理事務所,空港派出所

機内持込手荷物



イモリ



クワガタ

航空貨物受付時の開披検査で確認



大量のシリケンイモリ

## <三太郎線周辺利用者の予約状況確認等の現地立会い>

### 【実施者】

環境省、鹿児島県、奄美市、世界自然遺産推進共同体（協力）  
（いずれも奄美大島三太郎線周辺における夜間利用適正化連絡会議構成団体）

### 【実施場所】

東仲間側出入口及び西仲間側出入口にて、日没後～21:30の間、立会い

### 【実施期間】

- ・2020年度より毎年協力参加
- ・ゴールデンウィーク、お盆、9月連休、年末年始の数日間



## ＜アマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーンへの参加＞

【主催】環境省奄美群島国立公園管理事務所

【実施時期】毎年秋に実施、共同体は2020年度から毎年参加

【実施場所】奄美市内＝奄美大島中南部間の国道やガソリンスタンド、海の駅など

【その他】2024年度は、「どうぶつレスキューボックス」の搭載も呼びかけ



# 世界自然遺産を守るための活動例（どうぶつレスキューボックス）

どうぶつレスキューボックス（太平電機ECOひいきプロジェクト）の車搭載→発見→救護マニュアル→行政/動物病院に電話→指示受→ワンタッチ組立→収納→動物病院に運ぶ

- ◆生物が交通事故でけがを負った際、早く正しく動物病院に運ばれたら助かる命がある
- ◆レスキューボックス搭載による運転者のロードキル防止意識の醸成



車載箱/救護マニュアル



車載目印ステッカー



サシバ



リュウキュウコノハズク

## <発案者>

- ・奄美いんまや動物病院

## <製造販売>

- ・太平電機

## <購入場所>

- ・奄美いんまや動物病院
- ・宇検村企画観光課窓口
- ・奄美海洋展示館
- ・旅友tokunoshima

## ◆奄美大島での搭載数 498枚（2024年9月時点） ※奄美大島内 登録車両の約1%

◆全販売数 552枚（奄美大島,徳之島,喜界島）

◆採用自治体、団体、企業（順不同敬称略）

- ・大島支庁（名瀬/瀬戸内/徳之島）、奄美大島5市町村、徳之島3町、喜界町
- ・奄美大島世界遺産センター、奄美フォレストポリス、奄美博物館

・奄美いんまや動物病院、奄美大島信用金庫 観光ネットワーク奄美、グリーンテック

鹿児島総合警備保障大島営業所、ドコモCS九州鹿児島支店、日本エアコミューター、日本航空  
徳之島障害者支援センターいっぽ、旅友tokunoshima

保全と活用の両立による持続可能な島



宝・魅力（自然・文化）の適切な活用



守る・磨く



ムンヌ シハテヤ ネン  
(物事の知り果てることは無い)

島のこと、  
島の宝のことに  
関心を持つ、知る

ありがとうさまりよーた